

島田宿から金谷宿に伝わる物語をたどる旅

旧東海道の物語めぐり

『富士山静岡空港』の周辺には、歌川広重の“東海道五十三次”などで有名な宿場が2つあり、旧東海道の面影を探しながら散策することができます。



コース距離

約26km

所要時間(目安)

2時間15分(うち徒歩1時間50分)
+ 見学1時間30分 + 休憩1時間

このコースのおすすめポイント！

- ◆ 江戸時代の面影が残る町並みをお散歩
- ◆ 歌舞伎や浄瑠璃にゆかりのある場所をめぐる
- ◆ 日本に3か所しかない石畳を歩いてみよう



スタート 富士山静岡空港

旅のスタートは『富士山静岡空港』。ここから空港アクセスバス島田線またはタクシーで『JR島田駅』に向かいます。



車で25分



JR島田駅

徒歩30分
(約2km)

徒歩5分
(300m)



徒歩5分(400m)



物語その1 八百屋お七の恋人・ 吉三郎の墓(関川庵)

見学10分

“八百屋のお七”と吉三郎の悲しい恋物語

江戸でのお話。家が火事になってしまった八百屋の娘・お七は、避難したお寺で吉三郎と出会い恋仲となった。しかし、お七の家が再建されると二人は離れ離れとなり、会えなくなってしまう。もう一度吉三郎に会いたい一心で、なんとお七は自分の家に火を付けてしまった。放火の罪は重く、お七は火あぶりの刑に。それを知った吉三郎はお七を弔う旅に出たが、大井川を渡る前に病死したと言われている。大井川は“箱根八里は馬でも越すが 越すに越されぬ大井川”と歌われるほどの難所。吉三郎は、この難所を前に息絶えてしまったのだね。



物語その3 日本左衛門の首塚(宅円庵)

見学10分

歌舞伎で色男として描かれる大泥棒“日本左衛門”の首塚

歌舞伎“白波五人男”に登場する“日本駄右衛門”のモデルとも言われる日本左衛門。彼は二百人もの手下を従えた義賊の首領とも伝えられているが、二十九歳のときに遠州鈴ヶ森(現在の磐田市)でさらし首にされた。しかし、その首を、金谷出身で日本左衛門の愛人の“おまん”が密かに金谷に持って帰ってきたと言われている。“白波五人男”で、どんな風に描かれているのかとても気になります。

徒歩30分
(約2km)



旧東海道金谷坂石畳

見学45分



日本に3か所だけ！

この道はぬかるんで滑りやすく、旅人たちが苦戦したといわれる“金谷坂”。そこで、歩きやすくするために山石を敷き並べたと言われています。一度はほとんどがコンクリート舗装されていましたが、平成3年に、地元の方たちによって石畳が復元されました。実は、江戸時代の石畳が残っている街道は日本に3か所しかない貴重なものだそう。



石畳を歩いたら
ひと休み



この中に、友人と今回探した中で
“一番ハートっぽい”石があります。
どれかわかるかな？

ハートの石を
探して見てね！



徒歩10分
(500m)



meguri 石畳茶屋

休憩1時間

営業時間
ランチ 午前11時～午後2時
(ラストオーダー 午後1時30分)
カフェ 午後2時～午後4時
(ラストオーダー 午後3時30分)
定休日：月曜日



JR金谷駅

ここからタクシーで『富士山
静岡空港』に戻ります。
お疲れさまでした！！

車で10分



ただいま！！

富士山 静岡空港に 到着！！

江戸時代の面影を残す町並みや石畳を歩いたり、様々な物語のゆかりの地を訪ね、ちょっとタイムスリップをしたような旅ができます！
みなさんも、当時の人々に想いを馳せながら、旧東海道を散策してみたいはいかがでしょうか？

